スタッフ募集

新久喜総合病院



新久喜総合病院は、元はJA埼玉県厚生連が経営する病院でしたが、2016年4月1日より巨樹の会に経営移譲しました。カマチグループ病院の仲間入りをし、「新久喜総合病院」として24時間365日「断らない病院」として生まれ変わりました。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/代謝・糖尿病内科/腎臓内科/神経内科/外科/肛門外科/消化器外科/心臓血管外科/呼吸器外科
整形外科/脳神経外科/乳腺外科/形成外科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科
病　　床　数：300床　急性期病棟：182床　ICU：8床　HCU：12床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約500件
手 術 件 数：月約300件

募集職種　**看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・理学療法士**
作業療法士・言語聴覚士　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033

人間ドックのご案内



当センターでは、地域の皆様ならびに企業等の皆様に健康で充実した毎日を送っていただけるように、生活習慣病をはじめ様々な病気の早期発見、早期治療のための健康診断をおこなっています。充実した設備と医療体制で皆様のお役に立てればと考えております。

ご自身とご家族のためにも、ぜひ人間ドックを受診して現在の健康状態を確認してみませんか。

ご予約・お問い合わせ先
健康管理センター TEL 0480-44-8413

編集後記

夏の暑さも過ぎ去り、ひぐらしの鳴き声が聞かれるようになって参りました。
朝、晩の肌寒さで体調を崩されている方は、いらっしゃいませんか？
これからは、寒さも増す季節となりますので、体調には十分お気をつけ下さい。

放射線科　大宮司

新久喜総合病院 広報誌
ともに vol. 9
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
http://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖浦方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

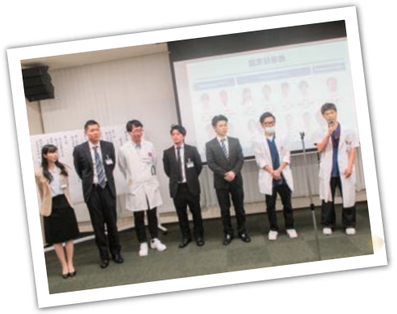
バスの場合
[朝日バス]久喜駅西口から約10分
▶久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖浦仲橋
▶久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖浦仲橋
[久喜市内循環バス]
▶除堀・所久喜循環
▶六万部・北中曽根循環

発行日：令和元年11月15日　担当者：地域医療部　森 崇広

医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

ともに vol. 9

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～



肝胆膵外科のご紹介
医療連携の会開催
キャンサーボード開催
ふれあい一日看護体験（高校生編）
部活動のご紹介
リハビリテーション科のご案内
関東カマチグループ医療連携会
ふれあい一日看護師長体験
七夕まつり







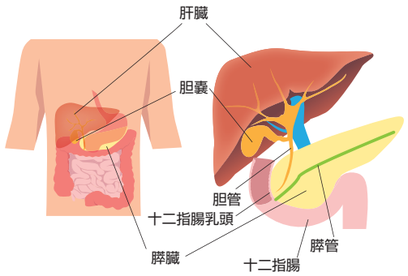
肝胆膵外科のご紹介

診療日
毎週月曜日PM・金曜日AM

●肝胆膵は、肝臓、胆道（胆嚢、胆管、十二指腸乳頭）、膵臓領域の総称で、消化、吸収、解毒、不要物の処理など生命維持に欠かせない重要な役割を果たしています。

●肝胆膵外科は、肝胆膵領域にできるがんの外科治療（手術）を専門とし、また薬物療法をふくめた集学的治療も行います。

●手術は、肝胆膵領域の悪性疾患（膵がん、胆管がん、原発性肝がん、転移性肝腫瘍、胆のうがん）、また良性疾患（肝損傷、肝膿瘍、胆嚢結石・総胆管結石、胆嚢炎・胆管炎、急性・慢性膵炎）に対して行います。



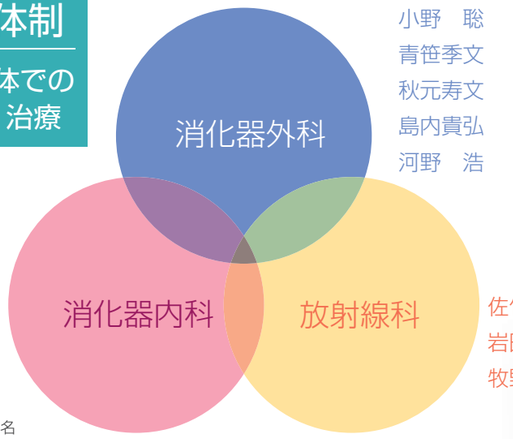
●肝胆膵領域はおなかの深い位置にあるうえに、出血しやすい臓器のため、消化器外科の中でも治療に高度な専門的知識と技術が要求されます。

●悪性腫瘍（がん）の治療は、手術だけで全て解決できるわけではなく、手術と手術以外の化学療法や放射線治療との組み合わせが大切です。手術よりも抗がん剤による化学療法、放射線治療が優先される場合もありますし、手術後も化学療法が必要な場合もありますので、患者さん一人一人に合った最適な治療を提供致します。

○日本肝胆膵外科学会高度技能指導医の資格、肝切除600例、膵切除350例、肝門部領域胆道悪性腫瘍手術50例の経験と確かな技術により、血管合併切除などの高難度手術も積極的に行い、高品質な医療を提供致します。

診療体制

三位一体での
診断・治療



小野　聡
青笹季文
秋元寿文
島内貴弘
河野　浩

蒲池良平
大田恭弘
村上洋介

佐竹光夫
岩田良子
牧野壮壱

※名前は医師名

当院での肝胆膵外科手術実績
（2019年4～9月）

- 膵頭十二指腸切除　7例
  —（うち門脈合併切除　1例）
- 腹腔鏡下膵体尾部切除　2例
- 肝切除　11例
  —（うち亜区域切除以上　7例）
- 胆道再建を伴う肝切除　2例
  —（肝門部胆管癌手術）
- 胆嚢摘出術　60例
  —（うち腹腔鏡下手術　56例）



担当医
あおささ　すえふみ
青笹　季文

経歴
1989（平成1）年：防衛医科大学校医学科卒業
1998（平成10）年：米国シンシナティ大学外科
2000（平成12）年：自衛隊那覇病院外科
2002（平成14）年：自衛隊中央病院外科
2004（平成16）年：第2次イラク復興支援群衛生隊長
2005（平成17）年：大宮医師会市民病院外科
2008（平成20）年：社会保険大宮総合病院外科
2012（平成24）年：防衛医科大学校外科学講座（肝胆膵外科）
2019（平成31）年：新久喜総合病院

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本腹部救急医学会腹部救急暫定教育医・認定医



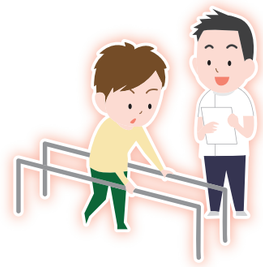
リハビリテーション科のご案内

医療技術部案内



当院リハビリテーション科は『手には技術、頭には知識、患者様には愛を』をモットーに理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、医師、看護師、社会福祉士等で連携をとりながら、ICU・急性期病棟・回復期病棟・外来を通して患者様が一日も早く回復できるように365日リハビリを提供しています。

■リハビリテーション科には、理学療法士が81名、作業療法士34名、言語聴覚士13名の合計128名(2019年8月1日付)在籍しています。



各リハビリテーションの取り組み

急性期リハビリ

発症・手術後早期より介入し良好な身体機能の回復を図りつつ自宅・社会復帰を支援します。早期より可能なADL（トイレ・食事・整容・排泄）の練習・促通を実施します。

回復期リハビリ

当院回復期は医師、看護師と共に積極的なリハビリテーションを提供し、早期の自宅退院を目指しています。患者様に合わせ土日祝日を含め毎日、最大3時間のリハビリテーションを行い、在宅でも生活できるよう体力の向上を図っています。また、退院前には必要に応じてスタッフがご自宅を訪問し、家屋環境を評価して、環境設定のお手伝いも行い、在宅復帰率86.1%を達成しています。（2019年9月度）

言語・発音・嚥下リハビリ

急性期部門と回復期部門に分かれ、発症初期から回復期に渡りリハビリを行います。主に失語症、高次脳機能障害、構音障害、嚥下障害に対し各種高次脳機能検査、嚥下造影検査等を行い、一人ひとりに合ったプログラムを実施しコミュニケーション能力、嚥下能力の改善を目指します。

外来リハビリ

主に退院後の患者さんのリハビリテーションを行っております。筋力増強訓練・動作指導などを行います。

訪問リハビリ

介護保険を利用し、利用者様が住み慣れたご自宅でリハビリを実施します。利用者様の能力を最大限に引き上げ、その人らしい自立した日常生活ができるように、リハビリを行います。また、利用者様の興味・関心を聴取し、活動・参加に目を向け、1人1人に合った個別リハビリを実施します。

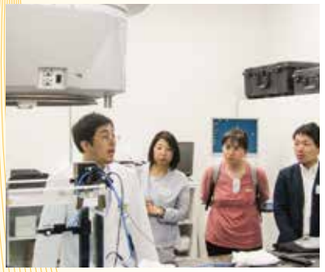
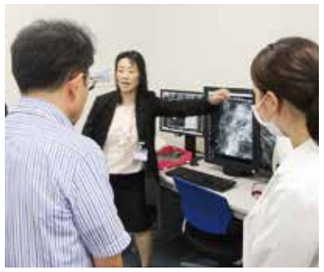


第7回

新久喜総合病院

医療連携の会



令和元年7月26日、「第7回新久喜総合病院医療連携の会」を開催致しました。

第1部の講演では消化器センター長　兼ICUエグゼクティブアドバイザーの小野医師、消化器センター副センター長 兼 肝胆膵外科部長の青笹医師が講演しました。

医療連携の会には、地域の医療機関の先生方にも数多く参加いただき当院の特色ある診療科の取り組みについても紹介致しました。

院内の見学では、放射線治療装置（リニアック）と乳癌精密機器マンモトームの説明を放射線科医長の牧野医師、乳腺外科医長の早野医師が説明しました。

また、第2部の懇親会では地域の先生方と意見交換を行い「顔の見える医療連携体制」について有意義な意見交換ができました。

これからも継続して取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

地域医療部　副主任　宮原　裕之

第5回

関東カマチグループ医療連携会






令和元年9月10日、東京帝国ホテルにて「第5回カマチグループ医療連携会」を開催致しました。

お忙しい中、日頃からお世話になっている地域の医療機関、介護施設より総勢1,000名を超える方々にお越しいただき盛大な医療連携の会となりました。

今後も顔の見える連携を心掛け、カマチグループ一丸となって取り組んでいきたいと思います。

地域医療部　副主任　池主　祐志

地域参加型

キャンサーボードを開催しました

令和元年8月27日、患者様をご紹介いただいております地域の医師会の先生方をお招きし「地域参加型キャンサーボード」を開催しました。当院は「埼玉県がん診療指定病院」として地域の皆様に高度ながん医療を提供する役割があります。今後も当院だけではなく、地域の医師会の先生方と共に協力し合い、全てのがん治療がこの地域で完結でき、皆様に信頼されるがん診療を目標に日々精進して参ります。

緩和ケアチーム　乳がん看護認定看護師
副主任　西口　沙也佳






CANCER BOARD

ふれあい

一日看護師長体験









令和元年7月19日、地域の方々をお招きし「ふれあい一日看護師長体験」を開催致しました。

私達看護師と同じ制服に着替えて、岡崎院長から一日看護師長の辞令を受け、各班に分かれて病棟にて看護体験や救命措置体験をしていただきました。

昼食には、参加された皆様と各病棟師長にて病院食を摂りながら色々なご意見を伺うことができました。この「ふれあい一日看護師長体験」を通して病院の状況や雰囲気などを肌で感じていただけたと実感致しております。

来年以降も継続し、たくさんの方々に参加していただきたいと思います。

地域医療部　室長　中村　早苗

ふれあい

一日看護師体験

高校生編！

令和元年8月9日、地域の高校から36名に、ふれあい一日看護師体験に参加していただきました。

血圧測定を体験したり、患者様と触れ合えたことで、看護について興味を深めることができたようです。患者様からも若いパワーを感じましたとお声を頂きました。

5階病棟副師長　佐々木　信孝



七夕まつり









令和元年7月7日、当院会議室にて、回復期病棟入院中の患者様を対象に、七夕まつりハーモニカ演奏会を開催致しました。宮代ハーモニカクラブの皆様にお越しいただき、総勢60名程度の患者様が参加されました。懐かしい曲が多く、患者様が手拍子をしたり、一緒に歌ったりする姿が見受けられ笑顔の多い会となりました。

リハビリテーション科　田村　侑子

部活紹介

フットサル部

当院フットサル部は毎月3~4回、地域の体育館やグラウンドや地域の大会に参加しフットサル･サッカーを行っています。フットサル部は年に一回行われている関東カマチグループ病院大会での優勝を目標に活動しています。メンバーはリハビリスタッフ･看護師･医師･放射線科･総務課と様々な職種で構成されており、男性女性問わず運動が好きな人、運動不足を解消したい人など幅広く楽しくにぎやかに活動しています。

リハビリテーション科　岡本　洵

